

Press Release

ゼロボード | 3/15~17 開催「第2回 脱炭素経営 EXPO 春」に出展

～ 脱炭素経営を自分ごとに。取り組み企業との対談で今企業がやるべきことを紐解く。～

GHG（温室効果ガス）排出量算定・開示・削減を支援するソリューション「zeroboard」を提供する株式会社ゼロボード（東京都港区、代表取締役：渡慶次 道隆、以下「当社」）は、3月15日（水）～3月17日（金）に東京ビッグサイトで開催される「第2回 脱炭素経営 EXPO 春」に出展いたします。今回はGHG排出量算定・可視化クラウドサービス「zeroboard」の体験や各種サービスの紹介、GHG算定に取り組まれている企業様との対談やセミナーなど、脱炭素経営に取り組むヒントとなるコンテンツをご用意しております。また、3月16日（木）には、「脱炭素経営 実現セミナー」に代表取締役 渡慶次が登壇いたします。



■ 展示会概要

イベント名：第2回 脱炭素経営 EXPO 春

会期：2023年3月15日（水）～3月17日（金） 10:00～18:00（最終日は17:00まで）

会場：東京ビッグサイト（東京都江東区有明3丁目11-1）東7ホール

主催：RX Japan 株式会社

イベントURL：<https://www.decarbonization-expo.jp/spring/ja-jp.html>

入場申し込み：

https://entry.reedexpo.co.jp/expo/FC/?lg=jp&tp=inv&ec=DCM&_ga=2.120949390.740920305.1674555468-2036246398.1674555468

■ 出展概要

出展ブース番号：56-68

内容：各プロダクトの紹介「zeroboard」「zeroboard construction」「zeroboard logistics」、各種セミナー、導入企業ならびに事例紹介、パートナーによる GHG 削減ソリューション紹介など

<セミナータイムテーブル>

3月15日(水)			
時間	種類	内容	登壇者
11:00-11:30	対談	サステナブル経営担当者必見！ オリックスが提供する脱炭素経営ソリューションを解説	オリックス株式会社 有田 英司様 株式会社ゼロボード 代表 渡慶次道隆
12:00-12:30	講演	zeroboard で始めよう： 持続可能な社会の実現のための GHG 排出量管理	株式会社ゼロボード 開発本部長 本間 真
14:00-14:30	対談	「総合環境企業」TRE ホールディングス(株)の 挑戦 -サーキュラーエコノミーの実現に向けて-	TRE ホールディングス株式会社 上川 毅様 株式会社ゼロボード 代表 渡慶次 道隆
15:00-15:30	講演	カーボンニュートラル経営最前線： 代表の渡慶次が解説するゼロボードの最新戦略	株式会社ゼロボード 代表 渡慶次 道隆
16:00-16:30	講演	ゼロボードの事業開発本部がこっただけで解説！ グローバルな脱炭素経営の視点とビジネス戦略	株式会社ゼロボード 事業開発本部

3月16日(木)			
時間	種類	内容	登壇者
11:00-11:30	対談	パナソニック(株)エレクトリックワークス社による 持続可能な社会実現への挑戦：不動産の GHG 排出量可視化	パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 林 宏治様 株式会社ゼロボード 代表 渡慶次 道隆
12:00-12:30	講演	ゼロボードの事業開発本部がこっただけで解説！ グローバルな脱炭素経営の視点とビジネス戦略	株式会社ゼロボード 事業開発本部
13:00-13:30	対談	ESG 投資の新潮流： ポラリス・キャピタル・グループが推進する投資先の GHG 排出量削減	ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 原田 佳実 様 株式会社ゼロボード 代表 渡慶次 道隆

14:00-14:30	講演	zeroboard で始めよう： 持続可能な社会の実現のための GHG 排出量管理	株式会社ゼロボード 開発本部長 本間 真
15:00-15:30	対談	ヨネックス×長瀬産業×ゼロボード： スポーツ業界が取り組むサプライチェーンでの GHG 排出量算定及び削減への取り組み	ヨネックス株式会社 高谷 陽介 様 長瀬産業株式会社 増井 祐介様 株式会社ゼロボード カスタマーサクセス本部長 坂本 洋一
16:00-16:30	対談	共同印刷×長瀬産業×ゼロボード： 印刷物のカーボンフットプリント可視化と 1 次データによる算定	共同印刷株式会社 横田 恒様 長瀬産業株式会社 中嶋 昌士様 佐藤 駿人様 株式会社ゼロボード カスタマーサクセス本部 鈴木 孔平

3月17日(金)			
時間	種類	内容	登壇者
10:00-10:30	講演	ゼロボードの事業開発本部がこっただけで解説！ グローバルな脱炭素経営の視点とビジネス戦略	株式会社ゼロボード 事業開発本部
11:00-11:30	講演	zeroboard で始めよう： 持続可能な社会の実現のための GHG 排出量管理	株式会社ゼロボード 開発本部長 本間 真
12:00-12:30	対談	サステナブルファイナンス最前線 Part1： 地銀と地域脱炭素の新たな展開	株式会社千葉銀行 上西 孝二 様 株式会社横浜銀行 井口 友吾 様 株式会社ゼロボード 代表 渡慶次 道隆
14:00-14:30	対談	サステナブルファイナンス最前線 Part2： 三菱 UFJ 銀行が取り組む新たな展開	株式会社三菱 UFJ 銀行 西山 大輔 様 株式会社ゼロボード 代表 渡慶次 道隆
15:00-15:30	講演	カーボンニュートラル経営最前線： 代表の渡慶次が解説するゼロボードの最新戦略	株式会社ゼロボード 代表 渡慶次 道隆

■「脱炭素経営 実現セミナー」登壇について

日時：3月16日（木）10:30～11:00

場所：脱炭素経営 実現セミナー会場 H（東7ホール）

受講料：無料

登壇者：代表取締役 渡慶次 道隆

テーマ：パートナーと実現する、GHG 排出量削減ソリューション

GHG 算定の次は削減フェーズへ。全方位に連携したパートナーが提供する多種多様な GHG 排出量削減施策をご紹介します。

URL：<https://wsew2023.temssystem.com/exhiSearch/WSEW/jp/Workshop/DECARBONISATION>

■会社概要

社名：株式会社ゼロボード (<https://zeroboard.jp>)

所在地：東京都港区三田三丁目 5-27 住友不動産三田ツインビル西館 10 階

代表者：代表取締役 渡慶次 道隆

設立：2021年8月24日

事業内容：温室効果ガス排出量算定・可視化クラウドサービス「zeroboard」の開発・提供／脱炭素経営に関するコンサルティング

【採用強化中】

当社は、設立2年目で従業員数100名を超える規模に成長しました。脱炭素社会に向けたサービス構築と一緒に進めていくメンバーを募集しています。ビジネス、エンジニア、コーポレートなど募集ポジションは多岐にわたります。新しいオフィスと一緒に働きませんか？私たちのビジネスやプロダクト、チームにご興味をお持ちの方はぜひお問い合わせください。

【企業向けウェビナー開催中】

当社では、脱炭素経営のための企業向けウェビナーを毎月開催しています。国内外の脱炭素の最新動向や、「zeroboard」の活用方法などを解説しておりますので、ぜひお申し込みください。詳しくは当社ホームページのイベントページをご覧ください。

【本件に関するお問合せ先：株式会社ゼロボード】

zeroboard 導入について（ビジネス本部）：info@zeroboard.jp

採用について（人事部）：recruit@zeroboard.jp

報道やご取材について（広報）：pr@zeroboard.jp

Appendix

■ zeroboard について

「zeroboard」は、脱炭素経営パートナーとして GHG（温室効果ガス）排出量算定・開示・削減までを支援する一気通貫ソリューションです。企業活動やサプライチェーン由来の GHG 排出量をクラウド上で算定と可視化を行い、課題に合わせた GHG 削減ソリューションを提供することで、企業の脱炭素経営を支援しています。



- 国内外のサプライチェーン排出量（Scope1-3(※2)）、製品別・サービス別排出量（カーボンフットプリント）の算定・可視化
- サプライヤの実績値の収集・管理機能
- 多言語対応（日本語・英語・タイ語・中国語・スペイン語）
- 第三者機関が妥当性を保証済みの信頼性を担保されたシステム（ISO14064-3(※3)に準拠した検証）
- 各種報告書（温対法、CDP、TCFD など）の定量的な開示項目に準拠した算定が可能
- サステナブルファイナンス、再エネ・省エネ、脱炭素ソリューション、原材料調達、人材の提供など、ユーザー企業の脱炭素課題に沿った多彩な削減支援を提供

（※2）国際的な温室効果ガス排出量の算定・報告の基準である「温室効果ガス（GHG）プロトコル」の中で設けられている排出量の区分（Scope1: 自社の事業活動における直接的な GHG 排出、Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用により発生する間接的な GHG 排出、Scope3: 上記以外の事業活動に関わるサプライチェーンの GHG 排出）

（※3）国際標準化機構（ISO）が定めた GHG に関する主張の妥当性確認および検証のための仕様・手引き